

点 検 業 務 委 託

共 通 仕 様 書

(公財) 岐阜県浄水事業公社

(適用範囲)

第1条 この共通仕様書は、公益財団法人岐阜県浄水事業公社の管理する施設の点検業務委託に適用する。なお、本共通仕様書に記載のない一般事項については、岐阜県が定める「測量作業共通仕様書」に規定する「測量作業」を「点検業務」に読み替えて、適用するものとする。

2 本仕様書の内容に特記仕様書の内容が抵触する場合は、特記仕様書を優先するものとする。

(監督員)

第2条 発注者は、点検業務委託における監督員を置く場合は受注者に通知するものとする。

2 監督員は、発注者が意図する成果物を完成させるための受注者又は受注者の管理技術者に対する業務の指示、業務における確認・承諾・回答・協議、契約の履行状況の監督、設計図書の記載内容と履行内容との照合等を行うものとする。

(管理技術者等)

第3条 受注者は、点検業務委託における管理技術者及び主任技術者（様式第2号、第2号の3）を定め、発注者に通知するものとする。

2 管理技術者は、点検業務委託の履行にあたり点検対象に関する技術的な資格又は知識を有し、十分な経験を有する者でなければならない。

3 主任技術者は契約図書に基づき、点検業務委託に関する技術上の一切の事項を処理するものとする。また、主任技術者は点検対象に関する技術的な資格又は知識を有する者でなければならない。なお、管理技術者と主任技術者とは、これを兼ねることができる。

4 管理技術者は、監督員が指示する関連のある点検業務等の受注者と十分に協議の上相互協力し、業務を実施しなければならない。

5 管理技術者は、使用人等（協力者又はその代理人若しくはその使用人その他これに準ずる者を含む。以下「使用人等」という）の雇用条件、賃金の支払い状況、作業環境等を十分に把握し、適正な労働条件を確保しなければならない。

6 管理技術者は、点検業務委託に際して使用人等に適宜、安全対策、環境対策、衛生管理、受注者が行うべき地元関係者に対する対応等の指導及び教育を行うとともに、点検業務委託が適正に遂行されるように、管理及び監督しなければならない。

(作業の実施)

第4条 受注者の行う現場点検作業は、監督員の立会いのもとで実施すること。ただし、事前に監督員の承諾を得た場合は、この限りでない。

2 受注者は、点検作業工程、作業内容等を監督員と協議してから作業を実施すること。

3 点検作業の過程において予期しない重大な不良部分等が発見された場合は、受注者は速やかに監督員と協議しなければならない。

(提出書類)

第5条 受注者は、次の各号に掲げる書類を遅滞なく提出しなければならない。

- (1) 業務着手届…**1部**
- (2) 業務工程表…**1部**
- (3) 管理技術者及び主任技術者届（経歴書を添付する）…**1部**
- (4) 業務組織表（緊急時連絡体制を含む）…**1部**
- (5) 作業日報及び作業写真等…**1部**
- (6) 委託業務完了届…**1部**
- (7) 点検結果報告書…**2部**
- (8) その他要求する資料…**必要部数**

2 様式については岐阜県が定める「測量作業共通仕様書」の様式に準拠するものとする。なお、前項において不明な様式は、監督員が指示するものとする。

(契約の範囲)

第6条 受注者は、本業務の仕様書に特に明記されていない事項であっても、当然本業務に関して必要な業務等は、本業務に含まれるものとする。

(汚染防止)

第7条 受注者は、本業務の履行にあたり毒物劇物類・油脂・汚水等によって、下水道施設等が汚染されないようにしなければならない。

(作業標識及び事故防止措置等)

第8条 受注者は、点検作業現場において作業中であることを標示し、特に危険である場所にはその旨を標示する等、事故防止の処置を講じなければならない。

2 発注者が通常施錠している施設内にて作業を実施する場合は、作業員出入り等以外は必ず施錠を行うこと。また、発注者より借り受けた鍵は受注者が責任を持って管理しなければならない。

3 発注者が管理している設備・機器等を使用する場合またはこれらを操作する場合は、事前に監督員の承諾を得ること。

(保証期間)

第9条 受注者は、本業務履行の不備により、業務完了の日から1年以内に点検対象機器の動作・精度が許容を越えた場合は、無償にて速やかに再点検するものとする。

(原形復旧)

第10条 受注者は、本業務の履行上、発注者又は第三者の施設等を破損するおそれがあると判断した場合は、点検作業前にその旨を発注者及び関係者に申し出て、承諾を得た後に履行すること。また、履行後は速やかに原形に復旧するものとする。

(随時検査)

第11条 受注者は、監督員の指示する事項について、随時検査を受けなければならない。

(主要部品等の承認)

第 12 条 受注者は、使用前に主要製品・部品及び材料については、監督員の承諾を受けるものとする。

(撤去品)

第 13 条 受注者は、本業務の履行にあたり撤去品が発生した場合は、監督員の指示に従い処理するものとする。

(その他)

第 14 条 受注者は、仕様書に明記されていない事項であっても、業務上当然必要な作業は、良識ある判断に基づいてこれを行わなければならない。

2 受注者は、発注者の取り組む I S O 1 4 0 0 1 の活動に協力しなければならない。